電話機の機能および設定

- 電話機の機能および設定の概要，1 ページ
- Cisco IP Phone ユーザのサポート，1 ページ
- Cisco IP Phone のテレフォニー機能，2 ページ
- 機能ボタンとソフトキー，10 ページ
- プログラム可能なソフトキーの設定，12 ページ
- プログラム可能なソフトキー，12 ページ

電話機の機能および設定の概要

Cisco IP Phone をネットワークに設置して、ネットワーク設定を構成し、それらをサードパーティ コール制御システムに追加したら、サードパーティ コール制御システムを使用して、テレフォニー機能を設定したり、必要に応じて電話テンプレートを変更したり、サービスをセットアップしたり、ユーザを割り当てたりする必要があります。

Cisco IP Phone のその他の設定は、サードパーティ コール制御設定ユーティリティから変更できます。この Web ベースのアプリケーションを使用して、電話機登録基準とコーリング サーチ スペースのセットアップ、社内ディレクトリとサービスの設定、電話ボタン テンプレートの修正、その他のタスクを行うことができます。

Cisco IP Phone ユーザのサポート

システム管理者は、多くの場合、ネットワーク内や社内の Cisco IP Phone ユーザの主な情報源になります。最新の詳細な情報をエンド ユーザに提供する必要があります。

Cisco IP Phone の機能（スピード ダイヤル、サービス、ボイス メッセージ システムのオプションなど）を正常に使用するには、ユーザがシステム管理者またはシステム管理者ネットワーク チームから情報を入手する必要があります。また、支援を受けるためにシステム管理者に問い合わせ

可能な環境が必要です。支援を求める際の連絡先の担当者の名前、およびそれらの担当者に連絡する手順をユーザに提供しておく必要があります。

エンド ユーザに Cisco IP Phone に関する重要な情報を提供するために、社内のサポート サイトに Web ページを作成することを推奨します。

このサイトには、次のタイプの情報を含めるように考慮してください。

- サポートするすべての Cisco IP Phone モデルのユーザ ガイド
- サポートされている機能のリスト
- ボイスメール システムのユーザ ガイドまたはクイック リファレンス

Cisco IP Phone のテレフォニー機能

Cisco IP Phone をサードパーティ コール制御システムに追加したら、電話機に機能を追加できます。次の表に、サポートされているテレフォニー機能のリストを示します。これらの多くは、サードパーティ コール制御システムを使用して設定できます。

（注） シスコ サードパーティ コール制御には、各種テレフォニー機能を設定するためのサービス パラメータもいくつかあります。

機能	説明と詳細情報
電話機での AES 256 暗号化サポート	TLS 1.2 および新しい暗号をサポートすることで、セキュリティが向上します。
すべてのコール ピックアップ	コールがどのように電話機にルーティングされたかに関係なく、ユーザはコール ピックアップ グループ内の任意の回線でコールをピックアップできます。
処理されたダイレクト コール パーク	ユーザは、ダイレクト パーク機能を使用して、1 つのボタンを押すだけでコールをパークすることができます。管理者は、ビジー ランプ フィールド（BLF）の [処理されたダイレクト コール パーク（Assisted Directed Call Park）] ボタンを設定する必要があります。アクティブ コールに対してアイドルな BLF の [処理されたダイレクト コール パーク（Assisted Directed Call Park）] ボタンを押すと、アクティブ コールは、[処理されたダイレクト コール パーク（Assisted Directed Call Park）] ボタンに関連付けられたダイレクト パーク スロットにパークされます。
オーディオ メッセージ受信インジケータ（AMWI）	ハンドセット、ヘッドセット、またはスピーカーフォンから聞こえるスタッター音により、ユーザが回線で新しいボイス メッセージを 1 つ以上受信したことが示されます。 （注） スタッタ音は回線によって異なります。この音が聞こえるのは、使用中の回線でメッセージを受信した場合のみです。

機能	説明と詳細情報
自動応答	呼出音を 1 ～ 2 回鳴らした後に、着信コールを自動的に接続します。 自動応答は、スピーカーフォンとヘッドセットのどちらでも機能します。
自動ピックアップ	ユーザは、コール ピックアップのための、ワンタッチのピックアップ機能を使用できます。
外線から外線への転送のブロック	外線コールをユーザが別の外線コールに転送することを禁止します。
折り返し	通話の相手が話し中や通話不能だった場合、その相手が通話可能になったときに、ユーザの電話機に音声による通知と画面表示による通知が送信されます。
コール表示の制限	発信回線および接続回線について表示する情報を、コールに関係する通話相手に応じて決定します。
コール転送	ユーザは、着信コールを別の番号にリダイレクトできます。コール転送オプションには、不在転送、話中転送、および無応答時転送があります。
不在転送の接続先の無効化	管理者は、すべてのコールの転送（CFA）の接続先が CFA の転送元にコールを発信する場合にはCFA を無効にすることができます。この機能により、CFA の接続先は、重要なコールがある場合に CFA の転送元に到達できるようになります。この無効化は、CFA の接続先の電話番号が内部か外部かに関係なく動作します。
コールの転送通知	転送されたコールを受信したときに表示される情報を設定できます。
共有回線のコール履歴	電話機のコール履歴に共有回線のアクティビティを表示できるようにします。この機能により次の内容が可能になります。 • 共有回線の不在着信をログに記録する • 共有回線のすべての応答済み着信と発信履歴をログに記録する
コール パーク	ユーザがコールをパーク（一時的に保存）し、別の電話機を使用してそのコールに応答できます。
コール ピックアップ	ユーザは、自分のピックアップ グループに属する別の電話機で呼出音が鳴っている場合に、そのコールを自分の電話機にリダイレクトできます。 電話機のプライマリ回線に、音声によるアラートと画面表示によるアラートを設定できます。このアラートによって、ピックアップ グループ内でコールの呼び出しがあることが通知されます。
コール待機	コールの最中に別の着信コールの呼出音が鳴っていることを通知し、ユーザが応答できるようにします。また、着信コールの情報を電話スクリーンに表示します。

機能	説明と詳細情報
コール待機呼び出し音	標準ビープ音の代わりに呼び出し音を鳴らすオプションを、コール待機中のユーザに提供します。 オプションは、[鳴らす（Ring）]、[一度鳴らす（Ring Once）]、[フラッシュのみ（Flash Only）]、[ビープ音のみ（Beep Only）] です。
発信者 ID	電話番号、名前、その他の説明テキストなど、発信者の識別情報を電話スクリーンに表示します。
発信者 ID ブロック	発信者 ID が有効になっている電話機から、ユーザが自分の電話番号または名前をブロックできるようにします。
発信側の正規化	発信側の正規化では、ダイヤル可能な電話番号として電話番号がユーザに示されます。エスケープ コードが番号に付加されるため、ユーザは簡単に発信者に再度接続できます。ダイヤル可能な番号は通話履歴に保存され、個人アドレス帳に保存できます。
会議	ユーザは、各参加者を個別に呼び出して、複数の通話相手と同時に話すことができます。 標準（アドホック）会議では、開催者以外でも参加者を追加または削除できます。また、どの会議参加者でも同じ回線上の 2 つの標準会議を結合できます。 （注） ユーザに対し、これらの機能がアクティブであるかどうかを必ず通知してください。
ポート用およびスイッチ用の設定可能な Energy Efficient Ethernet (EEE)	EEE を有効または無効にすることにより、 PC ポートとスイッチ ポートでの EEE機能を制御する手段を提供します。この機能は両方のタイプのポートを個別に制御します。デフォルト値は [有効（Enabled）] です。
設定可能な RTP/sRTP ポート範囲	リアルタイム トランスポート プロトコル（RTP）とセキュアなリアルタイム トランスポート プロトコル（sRTP）に設定可能なポート範囲（2048～65535）を提供します。 デフォルトの RTP および sRTP のポート範囲は 16384～32764 です。 SIP プロファイルで RTP および sRTP のポート範囲を設定します。
直接転送	2 つのコールを相互接続できます。接続完了後は、回線から離脱できます。

機能	説明と詳細情報
ダイレクト コール パーク	ユーザが、使用可能なダイレクト コール パーク番号をダイヤルまたは短縮ダイヤルし、その番号にアクティブなコールを転送できる機能です。コール パーク BLF ボタンは、ダイレクト コール パーク番号が使用中かどうかを表示するとともに、ダイレクト コール パーク番号への短縮ダイヤル アクセスにも使用できます。 （注） ダイレクト コール パーク機能を実装する場合は、[パーク（Park）] ソフトキーを設定しないでください。これは、ユーザが 2 つのコール パーク機能を混同するのを防ぐためです。
固有呼び出し音	内部ステーションから発信されたコールか、トランクから着信した外部コールかによって異なる種類の呼び出し音がユーザに聞こえます。内部コールの場合は 1 回の呼び出し音、外部コールの場合は非常に短いポーズを挟んで 2 回の呼び出し音が鳴ります。設定は必要ありません。
サイレント（DND）	DND をオンにすると、コールが呼び出し状態になっても呼出音が鳴らなくなります。またあらゆる種類の表示や音による通知も、一切行われません。
ファスト ダイヤル サービス	ユーザは、ファスト ダイヤル コードを入力してコールを発信できます。ファスト ダイヤル コードは、電話番号または [個人アドレス帳（Personal Address Book）] エントリに割り当てることができます。この表の「サービス」を参照してください。
ヘッドセットの側音の制御	管理者は、有線ヘッドセットの側音レベルを設定できます。
保留復帰	コールの保留時間を制限します。制限時間が経過すると、コールは保留にした側の電話機に復帰し、ユーザにアラートが通知されます。 復帰コールの通知は、着信コールの場合とは異なり、1 回の呼出音（回線の新規コールインジケータの設定によってはビープ音）によって行われます。この通知は、コールが再開されるまで、一定の間隔で繰り返されます。 コールが保留復帰した場合は、さらに、コールバブルにアニメーションのアイコンが表示されます。コールのフォーカス優先度を着信コールまたは復帰コールのどちらかに設定できます。
保留状態	共有回線を持つ電話機では、ローカル回線とリモート回線のいずれがコールを保留したのかを区別できます。
保留/復帰	ユーザは、接続されたコールをアクティブな状態から保留状態に移行できます。 • 設定は必要ありません。ただし、保留音を使用する場合には必要です。詳細については、この表の“「保留音」”を参照してください。 • この表の“「保留復帰」”を参照してください。

機能	説明と詳細情報
HTTP ダウンロード	HTTP をデフォルトで使用することで、電話機へのファイルのダウンロードプロセスが向上します。HTTP ダウンロードが失敗した場合、電話機は TFTP ダウンロードの使用に戻ります。
電話サービス用 HTTPS	HTTPS を使用した通信を要求することで、セキュリティが向上します。 （注） Web が HTTPS モードの場合は、電話機が HTTPS サーバになります。
Hunt Group	主要な電話番号へのコールに対して、ロードシェアリングを行います。ハントグループには、着信コールに応答できる一連の電話番号が含まれています。ハントグループ内の最初の電話番号が話し中の場合、システムは、グループ内で次に使用可能な電話番号を所定の順序で検索して特定し、その電話機にコールを転送します。
発信者名と番号の表示の改善	発信者名と番号の表示が改善されています。発信者名がわかっている場合、発信者番号が「不明」ではなく表示されます。
ジッター バッファ	ジッター バッファ機能は、オーディオ ストリームとビデオ ストリームの両方について 10 ミリ秒（ms）～ 1000 ms のジッターを処理します。
回線をまたいで参加	ユーザが、複数の電話回線上にある複数のコールを、1 つの会議コールに結合できるようになります。 一部の JTAPI/TAPI アプリケーションでは、Cisco IP Phone の参加および直接転送機能と互換性がないため、参加および直接転送ポリシーを設定して、同一回線上や、場合によっては複数の回線をまたいだ参加と直接転送を無効にする必要があります。
参加	ユーザが、同一電話回線上にある 2 つのコールを、1 つの会議コールとして接続したうえで、そのコールに留まることができます。
コール リストの回線ステータス	ユーザは、モニタ対象の回線番号の回線ステータス（可用性ステータス）を通話履歴リストで確認できます。回線ステータスには、次の状態があります。 • 不明 • アイドル（Idle） • ビジー • DND
メッセージ受信	メッセージ受信のオンおよびオフのインジケータに対する電話番号を定義します。直接接続型のボイス メッセージ システムでは、指定された電話番号を使用して、特定の Cisco IP Phone のメッセージ受信インジケータを設定したりクリアしたりします。

機能	説明と詳細情報
メッセージ受信インジケータ	ハンドセットのランプの 1 つで、ユーザに対する 1 つまたは複数の新着ボイスメッセージが届いていることを示します。
最小呼出音量	IP Phone の最小呼出音量レベルを設定します。
不在履歴のログ	ユーザが、特定のラインアピアランスで不在履歴を不在履歴ディレクトリに記録するかどうかを指定できるようにします。
Multilevel Precedence and Preemption	軍や官庁のような特別な環境にいるユーザが緊急または重要なコールを発信/受信できるようにします。
ライン アピアランス 1 つあたりのコール数	各回線は複数のコールに対応できます。デフォルトで、電話機は 1 回線あたり 2 つのアクティブ コールをサポートし、最大で 1 回線あたり 10 個のアクティブ コールをサポートします。ある時点では 1 コールだけが接続でき、他のコールは自動的に保留になります。 システムでは、最大コール/ビジー トリガーを 10/6 以下で設定できます。10/6 を超える設定は公式にはサポートされていません。
保留音	発信者が保留状態になっている間、音楽を再生します。
ミュート	ハンドセットまたはヘッドセットのマイクをミュート状態にします。
アラート名なし	元の発信者の電話番号を表示することで、エンドユーザが転送されたコールを簡単に識別できるようにします。コールはアラート コールとして表示され、その後に発信者の電話番号が表示されます。
オンフック ダイヤル	ユーザは、オフ フックにすることなく、番号をダイヤルできます。次に、ハンドセットを持ち上げるか、[ダイヤル（Dial）] を押します。
スピード ダイヤルの一時停止	スピード ダイヤル機能を設定すると、手動による操作をせずに、Forced Authorization Code（FAC）、Client Matter Code（CMC）、ダイヤル一時停止、追加の番号入力（ユーザ内線番号、会議のアクセス コード、ボイスメール パスワードなど）が必要な宛先に到達できます。スピードダイヤルを押すと、電話機は指定した DN とのコールを確立し、指定した FAC、CMC、DTMF ディジットを宛先に送信し、必要なダイヤル一時停止を使用します。

機能	説明と詳細情報
ピア ファームウェア共有	この機能は、高速キャンパス LAN 設定で次のメリットを提供します。 • 中央集中型リモート TFTP サーバへの TFTP 転送における輻輳が制限されます。 • ファームウェアのアップグレードを手動で制御する必要がなくなります。 • アップグレード時に多数のデバイスが同時にリセットされた場合の電話機のダウンタイムが削減されます。 帯域幅が制限された WAN リンクを経由するブランチまたは遠隔オフィス導入シナリオでは、ピア ファームウェア共有がファームウェアのアップグレードに役立つ場合もあります。
プラス ダイヤル	ユーザが先頭にプラス（+）記号を付けて E.164 番号をダイヤルできるようにします。 +記号をダイヤルするには、ユーザはアスタリスク（*）キーを1秒以上押し続ける必要があります。これは、オンフック（編集モードを含む）またはオフフック コールの最初の桁のダイヤルに適用されます。
LLDP での電力ネゴシエーション	電話機では Link Level Endpoint Discovery Protocol（LLDP）および Cisco Discovery Protocol（CDP）を使用して電力をネゴシエートできます。
プログラム可能な機能ボタン	発信、折返し、不在転送などの機能を回線ボタンに割り当てることができます。
リダイヤル	ユーザは、ボタンを押すか、[リダイヤル（Redial）] ソフトキーを押して、最後にダイヤルした電話番号にコールをかけることができます。
リモート接続先へのダイレクト コールの会社電話番号への再ルーティング	ユーザの携帯電話に直接かかってきたコールを会社の電話番号（固定電話）にルーティングできます。リモート接続先（携帯電話）への着信コールでは、リモート接続先でのみ呼出音が鳴り、デスクトップフォンの呼出音は鳴りません。携帯電話でコールに応答すると、デスクトップフォンに「リモートで使用中（Remote In Use）」というメッセージが表示されます。これらのコール中、ユーザは自身の携帯電話のさまざまな機能を使用できます。
呼出音の設定	電話機に別のアクティブ コールが着信したときに、回線で使用される呼出音タイプを指定します。
SIP の RTCP 保留	保留中のコールがゲートウェイによってドロップされないようにします。ゲートウェイでは RTCP ポートのステータスを確認して、コールがアクティブかどうかが判別されます。電話ポートを開いたままにしておくことによって、ゲートウェイは保留中のコールを終了しません。

機能	説明と詳細情報
セキュアな会議	セキュアな電話機で、セキュアな会議ブリッジを使用して会議コールを発信できます。[会議（Confrn）]、[参加（Join）]、[cBarge] ソフトキーまたは MeetMe 会議を使用して新しい参加者が追加されると、すべての参加者がセキュアな電話機を使用している場合にセキュア コールのアイコンが表示されます。 会議の各参加者のセキュリティ レベルが [会議リスト（Conference List）] に表示されます。開催者は、非セキュアの参加者を [会議参加者リスト（Conference List）] から削除できます。[拡張アドホック会議（Advanced Adhoc Conference）] に [有効（Enabled）] パラメータが設定されていれば、開催者でなくても会議参加者を追加または削除できます。
サービス URL ボタン	ユーザは、電話機の [サービス（Services）] メニューの代わりにプログラム可能なボタンを使用して、サービスにアクセスすることができます。
SIP エンドポイントの有用性	管理者が電話機からデバッグ情報をより迅速かつ簡単に収集できるようにします。 この機能は、各 IP フォンにリモート アクセスするために SSH を使用します。この機能を使用するには、各 IP フォンの SSH が有効になっている必要があります。
共有回線	複数の電話機で同じ電話番号を共有したり、電話番号を同僚と共有したりできるようにします。
発信者 ID および発信者番号の表示	電話機に、着信コールの発信者 ID と発信者番号の両方を表示できます。IP 電話機の LCD ディスプレイのサイズによって、表示される発信者 ID と発信者番号の長さが制限されます。 発信者 ID および発信者番号の表示機能は、着信コールのアラートのみに適用されます。コール転送とハント グループの機能は変更されません。 この表の “発信者 ID” を参照してください。
通話履歴での通話時間の表示	通話履歴の詳細に発信、受信通話の通話時間を表示します。 通話時間が 1 時間以上になった場合、時間、分、秒（HH:MM:SS）の形式で時間が表示されます。 通話時間が 1 時間を超えない場合、時間は分、秒（MM:SS）の形式で表示されます。 通話時間が 1 分未満の場合は、秒（SS）形式で時間が表示されます。
スピード ダイヤル	記憶されている指定番号をダイヤルします。
SSH アクセス（SSH Access）	SSH アクセス設定を有効または無効にすることができます。
Time-of-Day ルーティング	指定したテレフォニー機能へのアクセスを時間帯によって制限します。

機能	説明と詳細情報
タイム ゾーンのアップデート	タイム ゾーンの変更に伴い、Cisco IP Phone を更新します。
転送	ユーザは、接続されているコールを自分の電話機から別の番号にリダイレクトできます。 一部の JTAPI/TAPI アプリケーションでは、Cisco IP Phone の参加および直接転送機能と互換性がないため、参加および直接転送ポリシーを設定して、同一回線上や、場合によっては複数の回線をまたいだ参加と直接転送を無効にする必要があります。
直接転送	転送：転送では、常にまずアクティブ コールを保留にした後、同じ電話番号を使用して新しいコールを開始します。 直接転送：この転送では、確立された 2 つのコールを 1 つのコールとして接続し（コールは保留状態または接続状態）、機能を開始したユーザはコールから離脱します。直接転送では、打診コールが開始されたり、アクティブなコールが保留になったりすることはありません。 一部の JTAPI/TAPI アプリケーションでは、Cisco IP Phone の参加および直接転送機能と互換性がないため、参加および直接転送ポリシーを設定して、同一回線上や、場合によっては複数の回線をまたいだ参加と直接転送を無効にする必要があります。参照先：
UCR 2008	Cisco IP Phone は、次の機能を提供することによって Unified Capabilities Requirements（UCR）2008 をサポートします。 • 連邦情報処理標準（FIPS）140-2 のサポート • 80 ビット SRTCP タギングのサポート
ボイス メッセージ システム	コールに応答がない場合に、発信者がメッセージを残せるようにします。
Web アクセスはデフォルトで無効になっています。	HTTP など、すべての Web サービスへのアクセスを無効にすると、セキュリティが強化されます。Web アクセスを有効にすると、ユーザは Web サービスにのみアクセスできます。

機能ボタンとソフトキー

次の表に、ソフトキーで使用可能な機能、専用機能ボタンで使用可能な機能、さらにプログラム可能な機能ボタンとして設定する必要がある機能を示します。この表の「X」は、その機能が対応するボタンのタイプまたはソフトキーでサポートされることを意味します。2 つのボタン タイプとソフトキーのうち、プログラム可能な機能ボタンだけはCisco IP Phoneの管理ページでの設定が必要です。

表 *1*：機能とボタン/ソフトキーとの対応

機能名	専用機能ボタン	プログラム可能な機能ボタン	ソフトキー
応答		X	X
すべてのコールの転送		X	X
コール パーク		X	X
コール パークの回線ステータス		X	
コール ピックアップ（ピックアップ）		X	X
コールピックアップの回線ステータス		X	
会議	X		X（接続される会議コール シナリオでのみ表示）
転送			X
サイレント		X	X
保留	X		X
ハント グループ		X	X
インターコム		X	
ミュート	X		
キュー ステータスの PLK サポート		X	X
リダイヤル		X	X
スピード ダイヤル		X	X
スピードダイヤルの回線ステータス		X	

機能名	専用機能ボタン	プログラム可能な機能ボタン	ソフトキー
転送	X		X（接続される通話転送のシナリオでのみ表示）

プログラム可能なソフトキーの設定

電話機上に表示されるソフトキーをカスタマイズできます。デフォルトのソフトキー（電話機がアイドル状態のとき）は、[リダイヤル（Redial）]、[ディレクトリ（Directory）]、[コール転送（Call Forward）] および [応答不可（Do Not Disturb）] です。その他のソフトキーは、特定のコール状態のときに使用できます（たとえば、コールが保留中であれば、[復帰（Resume）] ソフトキーが表示されます）。

手順

ステップ 1 [管理者ログイン（Admin Login）] > [詳細（advanced）] > [音声（Voice）] > [電話機（Phone）] の順にクリックします。

ステップ 2 [プログラム可能なソフトキー（Programmable Softkeys）] で、ソフトキーを表示するコール状態に基づいてソフトキーを編集します。詳細については、次を参照してください。プログラム可能なソフトキー, （12 ページ）

[プログラム可能なソフトキー（Programmable Softkeys）] セクションでは、各電話機の状態が表示され、その状態のときに表示される使用可能なソフトキーが列挙されます。各ソフトキーはセミコロンで区切られます。ソフトキーは次の形式で表示されます。

```
softkeyname  |[  position  ]
```

ここで、softkeyname はキーの名前で、position はキーが IP 電話画面上に表示される位置です。位置には番号が付けられています。位置 1 が IP 電話画面の左下に表示され、その後に位置 2 ～ 4 が続きます。 その他の位置（5 以降）は、電話機の右矢印キーを押すことによってアクセスされます。ソフトキーの位置が指定されなかった場合は、キーがフローティングして、IP 電話画面の最初の使用可能な空の位置に表示されます。

ステップ 3 [すべての変更を送信（Submit All Changes）] をクリックします。

プログラム可能なソフトキー

次の表に、各ソフトキーとそのキーが表示される電話機の状態を示します。コール状態フィールドごとに最大 16 個のソフトキーを使用できます。

キーワード	キー ラベル	定義	使用可能な電話機の状態
acd_login	ログイン（Login）	ユーザが自動着信呼分配（ACD）にログインします。	アイドル
acd_logout	ログアウト（Logout）	ユーザが ACD からログアウトします。	アイドル
alpha	アルファ（Alpha）	データ入力フィールドに英字を入力します。	オフフック、ダイヤリング入力
answer	応答（Answer）	着信コールに応答します。	呼び出し中
avail	Avail	ACD サーバにログインしているユーザが自分のステータスを応対可能に設定していることを示します。	アイドル
barge	割込み（Barge）	他のユーザが共有コールに割り込めるようにします。	共有アクティブ、共有保留
bxfer	BlindXfer/bxfer	ブラインド コール転送（コールの転送先の相手と話さずにコールを転送する）を実行します。[ブラインド転送サービス（Blind Xfer Serv）] が有効になっている必要があります。	接続中
cancel	キャンセル（Cancel）	コールをキャンセルします（会議中に 2 人目のユーザが応答しなかった場合など）。	ダイヤリング入力
cfwd	進む（Forward）	すべてのコールを指定された番号に転送します。	アイドル、オフフック、保留、共有アクティブ、共有保留
clear	クリア（Clear）	テキスト/番号フィールド全体をクリアします。	入力
conf	会議（Conf）	会議通話を開始します。[会議サービス（Conf Serv）] が有効になっており、アクティブまたは保留中の2つ以上のコールが存在する必要があります。	接続中、会議開始

キーワード	キー ラベル	定義	使用可能な電話機の状態
confLx	会議回線（Conf Line）	電話機の会議アクティブ回線。[会議サービス（Conf Serv）]が有効になっており、アクティブまたは保留中の2つ以上のコールが存在する必要があります。	接続されている状態
delchar	delChar	テキストの入力中に文字を削除します。	ダイヤリング（入力）
dial	ダイヤル（Dial）	番号をダイヤルします。	ダイヤリング（入力）
dir	Dir	電話帳へのアクセスを提供します。	アイドル、接続中、会議開始、転送開始、オフフック（入力なし）、リダイヤル
dnd	DND	応答不可を設定して着信時に電話機が鳴動しないようにします。	アイドル、オフフック（入力なし）、保留、共有アクティブ、共有保留
endcall	終了（End Call）	通話を終了します。	接続中、オフフック、進行中、転送開始、会議開始、会議中、リリース、再開
hold	保留（Hold）	コールを保留にします。	接続中、転送開始、会議開始、会議中
ignore	無視（Ignore）	着信コールを無視します。	呼び出し中
join	参加（Join）	会議コールに接続します。	会議
lcr	Call Rtn/lcr	最後の不在着信を返します。	アイドル、不在着信、オフフック（入力なし）
left	Left	カーソルを左に移動します。	ダイヤリング入力
miss	Miss	不在着信のリストを表示します。	不在着信
newcall	発信（New Call）	新しいコールを開始します。	保留、共有アクティブ

キーワード	キー ラベル	定義	使用可能な電話機の状態
option	オプション（Option）	入力オプションのメニューを開きます。	オフフック（入力なし）、ダイヤリング（入力）
park	パーク（Park）	指定された「パーク」番号でコールを保留にします。	接続されている状態
phold	PrivHold	アクティブ共有回線上のコールを保留にします。	接続されている状態
pickup	ピック（Pickup）	ユーザが内線番号を入力することにより、別の内線番号を呼び出しているコールに応答できるようにします。	アイドル、オフフック（入力なし）
redial	リダイヤル（Redial）	リダイヤルリストを表示します。	アイドル、接続中、会議開始、転送開始、オフフック（入力なし）、保留
resume	復帰（Resume）	保留中のコールを再開します。	アイドル、保留、共有保留
right	権限（Right）	カーソルを右に移動します。	ダイヤリング（入力）
starcode	スター コード/*コードの入力（Input Star Code/*code）	選択可能なスター コードのリストを表示します。	オフフック、ダイヤリング（入力）
toggle	切り替え（Toggle）	アクティブまたは保留中の2つのコール間を切り替えます。	接続されている状態
unavail	応対不可（Unavail）	ACD サーバにログインしているユーザが自分のステータスを応対不可に設定していることを示します。	アイドル
unpark	パーク解除（Unpark）	パークされたコールを再開します。	アイドル、オフフック（入力なし）

キーワード	キー ラベル	定義	使用可能な電話機の状態
xfer	転送/xfer（Transfer/xfer）	コール転送を実行します。[在席転送サービス（Attn Xfer Serv）] が有効になっており、少なくとも 1 つの接続済みコールと 1 つのアイドル コールが存在する必要があります。	接続中、転送開始
xferLx	回線の転送/xferLx（Xfer Line/xferLx）	電話機上のアクティブ回線を着信者番号に転送します。[在席転送サービス（Attn Xfer Serv）] が有効になっており、アクティブまたは保留中の2つ以上のコールが存在する必要があります。	接続されている状態